

# バンコク県人会設立

タイの首都バンコクで暮らす本県関係者らが「バンコク福島桃の会」(バンコク福島県人会)を設立した。「福島県」をキーワードにネットワークを築き、情報を発信し、本県とタイの交流発展に貢献する。在タイ歴二十九年の渡部洋副会長(金山町出身)がワールド県人会の満山喜郎会長(白河市大信出身)を通して福島民報社に現地の様子を伝えた。



活動を開始したバンコク福島桃の会。前列左から3人目が小林会長、同4人目が渡部副会長

## 名称は「桃の会」

会長に小林勇さん(泉崎出身)

「バンコク福島桃の会」の新年会と総決起総会は一月十七日、バンコク市内の居酒屋で開かれ、活動を開始した。二十七人が参加した。会の名称に福島の象徴である「桃」を入れ、名誉会長にタイ国日本人会長の大橋真治郎さん(伊達市出身)、会長に小林勇さん(泉崎村出身)、副会長に渡部さん、事務局に大山勇起さん(郡山市出身)、山田浩さん(国見町出身)が就いた。

会員は本県出身か、県内の在学・在勤経験者、県内に親族のある人、タイに進出している本県関係企業の勤務者らで、これまでに約六十人となった。国際的な県人会、世界に開かれた福島県を目指そうと、国籍や出身地にかかわらず入会を歓迎している。国際結婚した会員も多い。

「オープンな福島県人会と福島県。『まあ』に『さすけねえ』の精神で、派手さはないけれど、ドッコイ絆は深いぞ、私たち福島県人」をモットーに、明るく、元気いっぱい活動を誓う。

海外の県人会は17カ国28団体に、これまでに県に報告されている海外の県人会は十六カ国二十七団体で、バンコク福島桃の会で十七カ国二十八団体となる。